

## お客様へ

●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



### ●点灯異常の際は電源を切る

異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。

### ●適正温度(-5°C~+35°C)で使用する

著しい高温で使用すると、故障や発煙の原因になります。高温で使用すると、故障や短寿命の原因になります。



●可燃物を近づけたり器具の真下に熱源を置かない  
本製品を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。

### ●破損したものを使用しない

本製品が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。



誤った取り扱いをすると、人けががしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



### ●定期的に点検する

3年に1回は専門家(工事店・電気店)による点検を実施してください。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。  
※使用条件: 周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。(JIS C8105-1解説による)



### ●光を直視しない

点灯中にランプを直視しないでください。目を痛めることができます。

### ●点灯中・消灯直後に触れない

点灯中や消灯直後は、本製品が高温になっていることがあるので触れないでください。やけどの原因になります。

### ●本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない

火災や感電の原因になります。

### ●分解や改造はしない

本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

## LED照明使用上の注意

- 本製品のLEDユニット部分は交換できません。
- 本製品の近くで他の機器のリモコン(リモートコントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。本製品と他の機器のリモコンを離して使用してください。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤動作したりすることがあります。
- 本製品の電源は、電子レンジやコピー機などの高ワット製品とは回路を分けて使用してください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
- 表示が発光するスイッチに使用した場合、スイッチの発光部が暗くなったり点灯しなかったりすることがあります。
- 照射距離が近いと、光むらが発生する場合があります。
- 間引き点灯をする場合は、分岐回路を設けて個別のスイッチで操作してください。(電気工事必要)
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像にしま模様やちらつきが見える場合があります。

## お手入れ方法

- 安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。
- 清掃する際は必ず電源を切り、本製品が冷えたことを確認してから行ってください。
  - 本製品のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃をしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
  - 清掃には、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って拭いてください。その後洗剤が残らないように水拭きしてください。
  - シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

## 保証とアフターサービス

### ■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より5年間です。

\*該物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをお提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

### ■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

### ■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510  
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 法人向けLED照明  
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは(通話料無料)  
LED照明サポートコール 0800-111-5300 (受付時間) 平日9:00~18:00、土・日・祝日9:00~12:00/13:00~17:00  
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは  
(通信料無料) 0800-111-9300 Webからのお問い合わせは  
(メールフォームにご記入のうえ送信してください) <https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>

## 施工説明書

取扱説明書 保管用  
日本国内専用



## 高気密 SB形 LEDダウンライト 防雨・防湿形 埋込穴径φ100・φ150 共通 調光非対応

### 電気工事必要

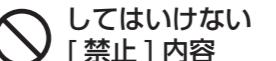
本製品の取り付け工事は、必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

## 安全上の注意

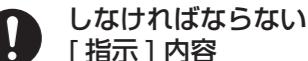
### 図記号の意味



注意を促す記号



してはいけない  
[ 禁止 ] 内容



しなければならない  
[ 指示 ] 内容

## 施工担当者様へ

- 工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



- 電源は定格電圧・定格周波数で使用する  
本製品は日本国内のAC100V(電圧変動±6%以内)、周波数50/60Hz専用です。それ以外の電源で使用すると、LEDチップの短寿命や火災の原因になります。



- 破損しているものを取り付けない  
感電・火災・落下・けがの原因になります。

### ●水平天井に取り付ける

傾斜天井に取り付けると、器具落下・感電・火災の原因になります。

### ●施工は施工説明にしたがい確実に行う

施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令にしたがって作業してください。施工が正しくないと、落下・感電・火災の原因になります。

### ●本製品の質量に耐える場所に取り付ける

取り付け部の強度が十分でないと、落下による火災や感電の原因になります。

### ●適正温度(-5°C~+35°C)で使用する

著しい高温で使用すると、故障や発煙の原因になります。高温で使用すると、故障や短寿命の原因になります。

### ●点灯異常の際は電源を切る

異常を感じたときは速やかに電源を切ってください。そのまま使用すると、火災・落下によるけがの原因になります。



- 酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない  
腐食や落下の原因になります。

### ●可燃物の近くや熱源の直上に取り付けない

ドアや建具の開閉範囲の近くに取り付けないでください。被照射物の変形・変色や火災の原因になります。また暖房器具の直上に取り付けると、照明器具が過熱し、火災・感電・落下の原因になります。



誤った取り扱いをすると、人けががしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 調光器には取り付けない  
破損の原因になります。



- 業務用浴場やサウナには取り付けない  
本製品は一般住宅用の防雨・防湿形器具です。取付場所を誤ると、火災・感電の原因になります。

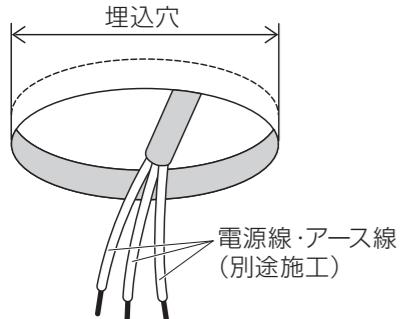
### ●過度な力を加えたり、過剰な力のかかるところや、振動・衝撃のある場所に取り付けない 破損や落下により、けがの原因になります。

### ●高温の場所、直射日光の当たる場所には取り付けない 劣化・腐食・落下の原因になります。

## 各部の名称

- 取り付ける前に下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。
- 部品が不足している場合は、お買い上げ店またはサポートコールまでご連絡ください。

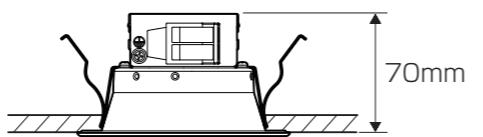
### ■埋込穴寸法



単位:mm	
埋込穴寸法	φ100 <sup>+2</sup> <sub>-0</sub> *
	φ150 <sup>+2</sup> <sub>-0</sub>

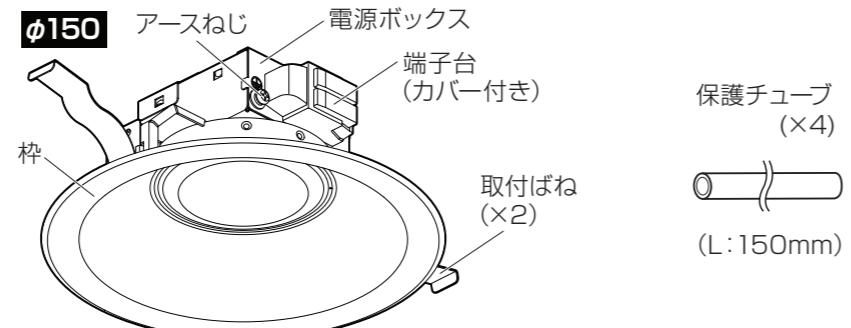
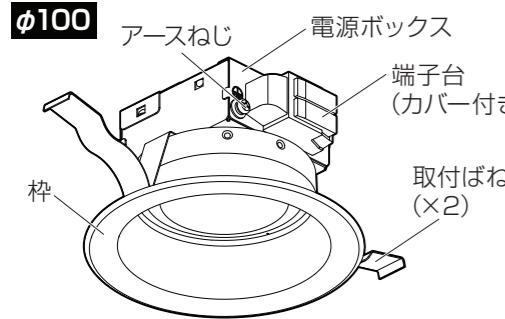
\*石こうボードに取り付ける場合は、φ103<sup>+2</sup><sub>-0</sub> mmあけてください。  
天井材破壊のおそれがあります。

### ■埋込必要高 70mm



器具が埋め込み内部の造営材やダクトなどの設備に、触れないように取り付けてください。他の設備に影響を及ぼす原因になります。

### ■各部名称



## 仕様

60W相当				100W相当							
埋込穴径	質量	筐体色	色温度(K)	品番	光束数値(lm)	消費電力(W)	品番	光束数値(lm)	消費電力(W)		
φ100	260g	白	2700	LSB100-0627NCSSW-V4	450	5.0	LSB100-1027NCSSW-V4	750	7.0		
			3500	LSB100-0635NCSSW-V4			LSB100-1035NCSSW-V4				
			5000	LSB100-0650NCSSW-V4			LSB100-1050NCSSW-V4				
	350g	黒	2700	LSB100-0627NCSSB-V4	350		LSB100-1027NCSSB-V4	550			
			3500	LSB100-0635NCSSB-V4			LSB100-1035NCSSB-V4				
			5000	LSB100-0650NCSSB-V4			LSB100-1050NCSSB-V4				
φ150	350g	白	2700	LSB150-0627NCSSW-V4	450		LSB150-1027NCSSW-V4	750			
			5000	LSB150-0650NCSSW-V4			LSB150-1027NCSSW-V4				

●使用電源: 定格電圧AC100V、定格周波数50/60Hz ●演色性: Ra85 ●調光: 非対応

●主要材質: 溶融亜鉛メッキ鋼板、ポリカーボネート ●LEDモジュール設計寿命: 40,000時間

※LEDモジュール設計寿命は、LEDが点灯しなくなるか初期光束が70%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。  
製品の寿命を保証するものではありません。

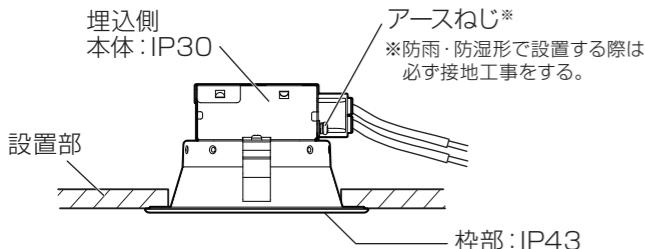
※本施工説明書と併せ、製品本体の表示および技術資料(仕様書など)をご確認ください。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

## 屋内・軒下兼用(防雨・防湿形)



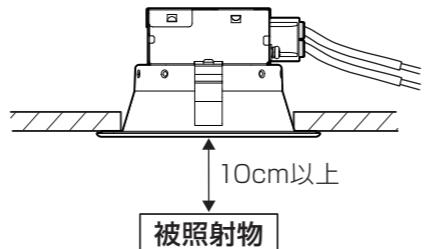
埋込側は防水仕様ではありません。本体が結露したり水滴がかかったり、また埋込側周辺の湿度が高い場所では使用しないでください。漏電や感電の原因になります。



## 照射距離についての注意



器具の直下10cm以内にドア、家具、建具を置いたり、可燃物を近づけないでください。被照射物の変形や変色、火災の原因になります。



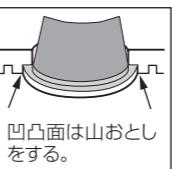
## 取り付けかた

- 部品は正確に取り付けてください。

### 1 設置前の確認

器具の重さに耐えられるように、設置部の強度を確保してください。壁面やロックワールなどのやわらかい面には取り付けないでください。

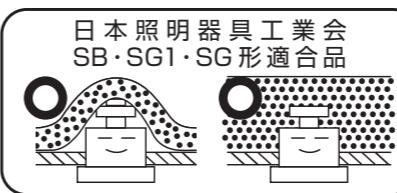
- 設置面に1mm以上凹凸がある場合は、山おとし加工をして平面を形成してください。そのまま取り付けると、光漏れ・気密性の低下の原因になります。



### 2 設置部に埋込穴をあける

#### 特殊な施工(断熱、防音等)天井に取り付けない

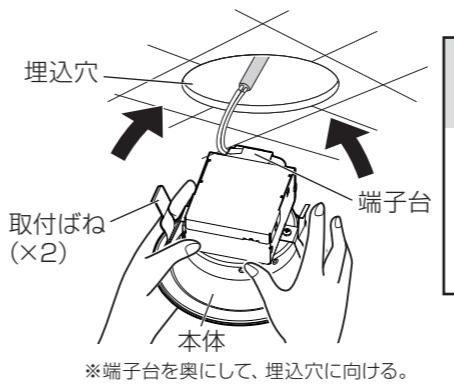
日本照明工業会、断熱施工用SB形ダウンライト適合品です。プローリング工法、マット敷き工法で施工された天井に使用できます。特殊な断熱構造などの天井に施工すると、火災の原因になります。



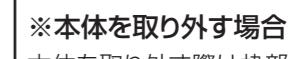
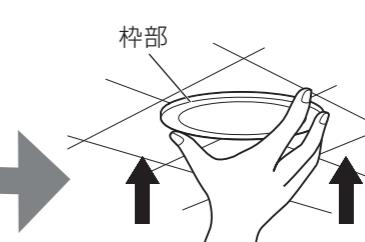
設置部の板厚強度が不足すると落下の原因になります。また埋込穴寸法が大きすぎると、器具の落下や光漏れの原因になるので、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

### 5 本体を取り付ける

取付けねじを内側に押さえながら、埋込穴を破損しないように本体を端子台側から挿入し、ゆっくり枠部を押し上げてください。



本体は確実に取り付けてください。取り付けが正しくないと落下の原因になります。



※本体を取り外す場合  
本体を取り外す際は枠部をゆっくり引き下げ、2本の取付けねじを内側に押さえながら取り外してください。  
無理に引き抜くと天井材破損の原因となることがあります。

### 3 安全確保のために電源を遮断する

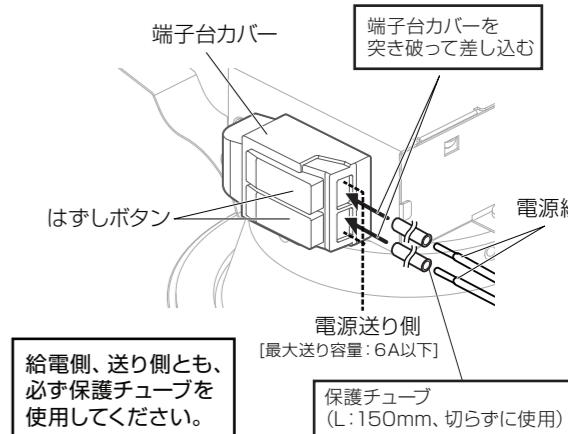
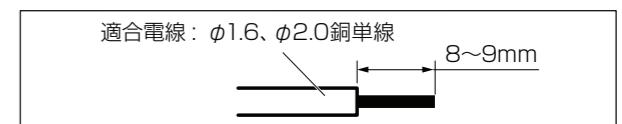


電源を切らないで作業すると、感電の原因になります。

### 4 電源線を接続する(軒下に設置する場合はアース線も接続する)



- 電源の接続は確実に行なう  
接続が不完全な場合や電源線が抜けて器具に接触したりすると、火災・感電の原因になります。
- 軒下に設置するときは、必ずアース線を接続する  
必ずD種(第3種)接地工事を行ってください。接地工事が正しくないと感電の原因になります。



給電側、送り側とも、必ず保護チューブを使用してください。

保護チューブ(L:150mm, 切らずに使用)